

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,780	△1.7	223	△12.2	192	△13.6	122	△10.9
28年3月期第2四半期	2,828	5.9	254	2.7	223	6.3	137	9.3

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 126百万円 (△17.7%) 28年3月期第2四半期 154百万円 (△6.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	13.06	—
28年3月期第2四半期	14.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第2四半期	7,035		3,441		46.7	
28年3月期	7,066		3,372		45.4	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 3,285百万円 28年3月期 3,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,160	4.2	500	△2.8	430	△4.4	260	△5.7	27.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
29年3月期2Q	619,873 株	28年3月期	619,401 株
29年3月期2Q	9,380,246 株	28年3月期2Q	9,407,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用改善はあるものの個人消費は伸び悩み、円高の進行や新興国経済の減速に加えて英国の欧州連合離脱決定による影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2016年度の経営スローガンを前々年度、前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、前年度に実施した社長室への商品戦略企画担当の配置や商品企画部の設置に続き、社長室に設置されている営業戦略企画担当が立案する営業戦略の実行にあたり、その戦術としての具体的企画や提案を行う「営業企画部」を新設し、組織的な営業活動の強化を進めてまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比1.7%減の27億8千万円（前年同期28億2千8百万円）となり、利益面においては、商品の採算性向上の伸展と経費管理の徹底により、予想値を上回ってはおりますが、減収影響に加え、人件費増や在庫評価に関する損失の発生もあって、営業利益で同12.2%減の2億2千3百万円（同2億5千4百万円）、経常利益で同13.6%減の1億9千2百万円（同2億2千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同10.9%減の1億2千2百万円（同1億3千7百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。拡販努力による切削工具での売上回復や電設工具・工業用ファスナーの売上増がありましたものの、レンチ類やファスニングツールにおいては流通在庫増加影響を受けたことに加え、前年同期において売上が伸長した新企画の工具セットがその一巡により減少という形となりました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門においては韓国向けのプライヤ類が拡販努力により大幅に増加する一方で、同国向けの電設工具が景況悪化の影響により減少しました。ファスニング部門では、大洋州向けにエアリーベッターが増加しましたが、米州向けには流通在庫増加影響を受け減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比1.7%減の26億6千7百万円（前年同期27億1千4百万円）となりました。利益面では営業利益が減収影響に加え、人件費増や在庫評価に関する損失の発生もあって、同13.8%減の1億7千3百万円（同2億1百万円）となりました。

②レジャーその他事業

売上高は前半期においては天候に恵まれ、ゴルフ練習場への集客施策の効果もあり、堅調に推移してまいりましたものの、お客様一人当たり売上高の低下傾向の継続に加え、計画的な設備保全による休業もあって減少し、前年同期比1.2%減の1億1千2百万円（前年同期1億1千4百万円）となり、営業利益は設備保全費用の発生を主因として減少し、同5.7%減の4千9百万円（同5千2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は70億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比4千4百万円減の44億7百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同1千3百万円増の26億2千8百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少がありましたが、投資有価証券や退職給付に係る資産の増加があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億1千2百万円増の25億7千8百万円となりました。これは主に未払法人税等や未払消費税等の減少がありましたものの、短期借入金や未払金が増加したことによるものです。

固定負債は同2億1千3百万円減の10億1千5百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比6千9百万円増の3億4千1百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2億4千6百万円減少(前年同期1億8千7百万円増加)し、1億2千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加や法人税等の支払がありました。税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上により、資金が1千7百万円増加(前年同期3億7千8百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券および有形固定資産の取得を主因に、資金が8千3百万円減少(前年同期3千4百万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金およびリース債務の返済、ならびに配当金支払により資金が1億8千万円減少(前年同期1億5千4百万円減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績予想の修正につきましては、平成28年11月4日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,142	1,450,768
受取手形及び売掛金	1,321,705	1,290,051
商品及び製品	886,233	1,064,940
仕掛品	211,260	235,134
原材料及び貯蔵品	171,245	192,701
その他	170,237	179,015
貸倒引当金	△5,548	△5,024
流動資産合計	4,452,277	4,407,587
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	768,075	743,416
土地	738,508	738,508
その他(純額)	564,767	546,139
有形固定資産合計	2,071,351	2,028,064
無形固定資産	36,110	33,617
投資その他の資産	507,106	566,710
固定資産合計	2,614,568	2,628,392
資産合計	7,066,845	7,035,980
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,572	260,211
短期借入金	1,696,702	1,811,689
未払法人税等	92,652	70,275
その他	439,131	436,669
流動負債合計	2,466,057	2,578,846
固定負債		
長期借入金	968,527	762,735
役員退職慰労引当金	3,120	—
退職給付に係る負債	48,078	49,256
その他	208,779	203,376
固定負債合計	1,228,504	1,015,368
負債合計	3,694,562	3,594,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,784,924	1,860,489
自己株式	△154,683	△154,777
株主資本合計	3,081,287	3,156,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,320	128,494
その他の包括利益累計額合計	130,320	128,494
非支配株主持分	160,676	156,513
純資産合計	3,372,283	3,441,765
負債純資産合計	7,066,845	7,035,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,828,376	2,780,470
売上原価	1,842,314	1,789,766
売上総利益	986,061	990,704
販売費及び一般管理費	731,985	767,572
営業利益	254,076	223,131
営業外収益		
受取利息	110	64
受取配当金	4,216	5,719
受取家賃	4,715	4,512
その他	3,951	3,357
営業外収益合計	12,993	13,653
営業外費用		
支払利息	19,280	17,300
売上割引	22,351	21,502
その他	2,350	5,162
営業外費用合計	43,983	43,965
経常利益	223,087	192,820
特別損失		
固定資産除却損	466	—
特別損失合計	466	—
税金等調整前四半期純利益	222,620	192,820
法人税等	76,336	64,037
四半期純利益	146,284	128,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,854	6,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,429	122,467

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	146,284	128,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,922	△1,804
その他の包括利益合計	7,922	△1,804
四半期包括利益	154,206	126,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,608	120,642
非支配株主に係る四半期包括利益	9,598	6,336

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,620	192,820
減価償却費	104,809	114,861
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△741	△569
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△3,120
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,404	1,178
受取利息及び受取配当金	△4,326	△5,783
支払利息	19,280	17,300
為替差損益(△は益)	1,735	△146
固定資産除却損	466	—
売上債権の増減額(△は増加)	93,660	31,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,353	△224,036
その他の資産の増減額(△は増加)	3,469	△15,733
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,862	22,639
その他の負債の増減額(△は減少)	17,383	△9,048
小計	436,253	122,016
利息及び配当金の受取額	4,326	5,784
利息の支払額	△20,975	△18,103
法人税等の支払額	△40,968	△92,414
法人税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,638	17,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△31,715	△33,007
無形固定資産の取得による支出	△584	△640
投資有価証券の取得による支出	△2,459	△51,065
その他	△90	1,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,849	△83,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△64,998	△103,333
長期借入れによる収入	220,000	240,000
長期借入金の返済による支出	△233,539	△227,472
リース債務の返済による支出	△29,069	△31,800
自己株式の取得による支出	△337	△94
配当金の支払額	△47,044	△46,902
非支配株主への配当金の支払額	—	△10,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,987	△180,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,735	146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187,066	△246,374
現金及び現金同等物の期首残高	1,186,841	1,370,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,373,907	1,124,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,714,007	114,369	2,828,376	—	2,828,376	2,828,376
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,714,007	114,369	2,828,376	—	2,828,376	2,828,376
セグメント利益	201,756	52,320	254,076	—	254,076	254,076

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,667,472	112,998	2,780,470	—	2,780,470	2,780,470
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,667,472	112,998	2,780,470	—	2,780,470	2,780,470
セグメント利益	173,816	49,315	223,131	—	223,131	223,131

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。